

～第 196 通常国会 国民大運動・安保破棄中実委・中央社保協主催 2・28 定例会国会行動～

予算案強行の暴挙は許さない！



2月28日、2018年度予算案の採決をめぐり緊迫した情勢の中で、第196通常国会第3回目の定例会国会行動が行われ、230人が参加しました。司会は農民連の藤原麻子書記次長。新婦人の小島妙子さんは「働く人のいのちを奪う労働法制改悪は許さない」として、労働法制改悪反対や保育、医療・介護、年金など社会保障の充実など、23,721人分の署名を倉林明子参議院議員に託しました。

当日は、11時半から12時まで、婦団連主催による「女性差別を固定化する『働き方改革』一括法案に反対する国会前緊急行動」も行われました。

< 発言概要 >

野党6党の結束と奮闘に呼応する運動を全国に広げよう！

安保破棄中実委の東森英男事務局長は主催者挨拶で、「今国会最大の緊迫した局面である」とし、「ねつ造データで法案提出の根拠が崩れたにも拘らず、安倍政権は『働き方改革』を進める姿勢を変えず、モリ・カケ疑惑の証人喚問も拒否し続け、スケジュールありきの予算案強行だ」と批判した。「国民生活を犠牲にする社会保障費削減、大軍拡の予算案強行の暴挙は断じて許さない」と訴え、「そのためにも今日の行動を起点として、野党6党の結束と奮闘に呼応する運動を全国で広げ、国会前でも切れ目のない大行動を行い、政権が身動きできない状況をつくろう」と強く呼びかけた。

皆さんと固く団結し、野党の結束をさらに強めて、世論を広げ国会を包囲しよう！

激励に駆けつけた日本共産党国会議員団の倉林明子参議院議員は、「国会が大きな正念場を迎えるにあたって、今大きな変化と前進が起こっている」とし、総選挙では逆流もあった野党共闘が、特別国会や通常国会代表質問、働き方改悪などで6党が結束し日々前進、進化を遂げているとして、「小池書記局長いわく『これまでにない旧知の関係のような気持ちのよい共闘、話し合いができています』」と報告。「『働かせ方大改悪』では、過労死でご家族を亡くした家族の会の皆さんを始め、労組やたくさんの市民の皆

さんが、いのちを奪う法案の本質を野党に訴えて頂いた」とし、「まさに世論が作った野党の共闘と結束が安倍政権を追い詰めている」と述べた。「手を緩めることなく国会を包囲し、更に世論を広げる中ででたらめなデータの『働かせ方大改悪』は撤回させ、森友・加計疑惑究明のための3人の証人喚問を求め、社会保障の大改悪、軍拡予算は断じて認められないという声を突きつけていこう」と強く呼びかけた。



写真左より、激励に駆けつけた倉林参議院議員、主催者挨拶の安保破棄中実委の東森事務局長、中央社保協の山口事務局長

TPP批准阻止、自由貿易を許さず、最後まであきらめずにたたかう！

全農協労連の館野豊書記長は、安倍政権は米を除いた11カ国で3月8日にチリでTPP11の署名式を行い、国会で批准を強行しようとしていると訴え、「国民生活のあらゆる分野に悪影響をもたらす、最低最悪の協定であるTPP批准は絶対にさせない、市民が当たり前で暮らせる社会の実現のためにたたかい抜く」と決意を述べた。

働き方改革法案をぶっ潰すために、全力をあげる！

日本医労連の温井伸二書記次長は、夢と希望を持って入った医療・介護の職場での、過酷な勤務による度重なる過労自死の事実をあげ「いったいどれだけ働かせ過ぎ、いのちを落とせば済むのだろうか」と訴えた。また、すでに行われている過労死を容認するような特別条項の実態を批判し「医療労働者の大幅増員、長時間夜勤や残業の改善、働き方改革法案をぶっ潰すために全力をあげる」と決意を述べた。

税金の使途について発言し、監視し、是正する権利を広げる！

全商連の中山眞常任理事は、森友学園を巡る国の財政処理に納税者が怒りの声をあげているとし、「業者には7年間帳簿の保存義務を課す一方で、安倍内閣は、巨額の値引きを認め『記録は廃棄した』と国会と国民を欺いた佐川氏を栄転させた。佐川氏や安倍昭恵氏の証人喚問もないままの予算案強行は許されない」と批判。納税者の権利宣言に基づくたたかいと「消費税増税中止、重税反対の運動に全力をあげる」と決意を語った。

中央社保協の東森英男事務局長が行動提起を行い、おしまいに、全生連の木島章要求運動部長によるコールで、参加者全員が国会に向け「強行採決反対！」などとシュプレヒコールを行った。

～第196通常国会(6/20閉会予定) 今後の定例会国会行動の予定です～

◆12:15～13:00 ◆衆議院第2議員会館前 ◆隔週の水曜日

◆3/14、3/28、4/11、4/25、5/9、5/23、6/6